

8つのチャレンジプロジェクト

① 杜と水の都プロジェクト

目標 「杜の都」の風土と文化に巡りあえる都市空間をつくる—みどりを実感できる居心地の良い空間を広げ、川や海など水辺に親しめる空間をつくるなど自然と調和した魅力的な都市空間をつくる

定禅寺通や青葉通などの誰もが楽しめる空間づくり、魅力ある公園づくり、親水空間づくりなど



② 防災環境都市プロジェクト

目標 持続可能でしなやかな都市環境をつくる—「防災環境都市」を世界に発信するとともに、災害への対応や環境への配慮の視点を日常生活に織り込み、持続可能でしなやかな都市環境をつくる

自然災害や感染症などあらゆる危機への対応力の向上、再生可能エネルギー導入や消費エネルギー削減等による温室効果ガスの削減、建築物の環境性能の向上など

③ 心の伴走プロジェクト

目標 多様性を尊重し、あらゆる人が安心して暮らせる地域をつくる—互いに多様性を尊重して支え合う、あらゆる人が孤立せずにつながる仕組みをつくる

年齢・性別・障害の有無・国籍など多様性への理解が広がる機会の創出、地域住民の顔が見える関係づくり、子どもたちの命と暮らしを守る取り組みなど

④ 地域協働プロジェクト

目標 多様性を力に変える地域をつくる—地域住民や市民活動団体、若者、企業等の多様な主体が関わり、多くのチャレンジが生まれる環境をつくる

誰もが地域づくりに関わることができる環境づくり、若者のアイデアを地域づくりに生かせる仕組みづくり、地域の交流が活発化する環境づくりなど



▲若者のアイデアを地域づくりに生かしていきます

⑤ 笑顔咲く子どもプロジェクト

目標 子どもたちの未来が広がる環境をつくる—安心して子どもを産み、子どもたちが健やかに成長できる環境をつくる—子どもたちがチャレンジしながら、人生を切り開く力を伸ばしていく環境をつくる

子どもの意欲を引き出し伸ばす教育環境や個性に合わせた成長の機会づくり、子育てを楽しめる環境づくりなど

⑥ ライフデザインプロジェクト

目標 自分らしい生き方が実現できる環境をつくる—健康づくりへの意識向上を働きかけるとともに、多彩な学びの機会があふれる環境やライフスタイルに合わせた活躍の場をつくり、創造性あふれる豊かな社会をつくる

多彩な学び・体験の機会の創出や、芸術などに親しみ創造性が育まれる環境づくり、多様な働き方ができる環境づくり、ライフステージに合わせた健康づくりなど



▲社会学級での歴史講座。小学校区単位で開かれる社会学級では、多彩な学びを得られます

⑦ TOHOKU未来プロジェクト

目標 世界に発信できる東北発のイノベーションを生み出す—社会的・経済的効果をもたらす、地域特性を生かしたイノベーションを創出する。戦略的なビジネスや誘客を進め、東北の魅力を広める

地域経済をけん引する企業の輩出、次世代放射光施設の設定を契機とした、新しい技術が生まれる環境づくり、国内外からの誘客促進など

⑧ 都心創生プロジェクト

目標 人が集い、新しいチャレンジが生まれる都心をつくる—都心開発を促進させ、ビジネスや交流の基盤を整備し、チャレンジを生む環境をつくる。多様なコンテンツをつくり、魅力的な都心をつくる

老朽建築物の建て替えや高機能オフィスビルの整備、イノベーションが生まれる都心づくり、新たな起業が生まれる環境の構築、まちの回遊性を向上させる取り組みなど



新しい基本計画の中間案へ 市民の皆さんのご意見をお寄せください

● 中間案の概要版の配布場所—市役所本庁舎1階市民のへや・市政情報センター、区役所総合案内、総合支所、市民センター等で配布するほか、市ホームページでもご覧いただけます ● 提出方法—中間案の概要版に添付のはがきで10月9日までに。市ホームページからも提出できます ※中間案説明会を開催します。詳しくは市ホームページをご覧ください ◆ トークイベント「みんなのせんだい未来づくり」を開催します。詳しくは14ページをご覧ください

挑戦を続ける、新たな杜の都へ —“The Greenest City” SENDAI

—新仙台市基本計画の中間案

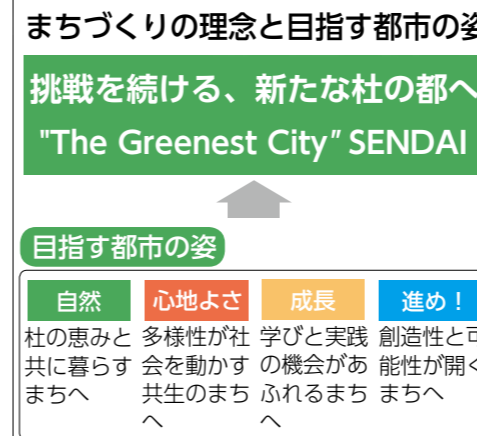
新しい基本計画の中間案がまとまりました

市では、来年度からスタートする新総合計画の策定に取り組んでいます。総合計画とは、市の将来像を掲げ、その実現に向けてどのように取り組んでいくかを示した、まちづくりの指針のこと。新総合計画は、10年間で取り組む施策の方向性を定める「基本計画」と、おおむね3年間の具体的な目標と施策を定める「実施計画」で構成されます。

このたび、令和3年度からの10年間を計画期間とする新しい基本計画の中間案がまとまりました。新しい基本計画は、重点的に取り組む施策を示す「チャレンジプロジェクト」、地域の特性を踏まえた取り組みを示す「区ごとの地域づくりの方向性」、市役所が取り組む施策等を示した「未来をつくる市政運営」などで構成されています。策定に当たっては、学識経験者や地域で活動する団体の代表者などで構成する「総合計画審議会」で、部会を含め計17回にわたる議論を重ねてきたほか、ワークショップや全市民アンケートなどを実施し、市民の方々からさまざまな意見をいただきながら検討を進めてきました。

都市個性を深化させ、目指す都市の姿の実現へ

中間案では、仙台市の都市個性として、「環境」、「共生」、「学び」、「活力」の4つを掲げています。この都市個性を深化させて掛け合わせ、相乗効果を生み出すことで「杜の都」を新しいステージに押し上げるため、まちづくりの理念を「挑戦を続ける、新たな杜の都へ—The Greenest City SENDAI」としました。「杜の都」と親和性のある「Green」という言葉に、目指す都市の姿である「自然」、「心地よさ」、「成長」、「進め！」の意味を含め、最上級「est」を付けることで、常に高みを目指していきます（左図）。



現状を踏まえて重点的に取り組む「チャレンジプロジェクト」を8つ掲げます（3ページ）。これは、行政だけでなく、住民や地域団体などが、知恵や技術を持ち寄りながらチャレンジを続けていくものです。仙台市は、戦災や東日本大震災など、数々の困難を乗り越えながら都市個性を育み、まちづくりを進めてきました。現在新型コロナウイルス感染症が私たちの生活に深刻な影響を与えています。安全・安心な生活基盤を守るためには、生活の変容から新しい可能性を見いだすことも求められます。社会の変化に適応しながら、受け継がれてきた杜の都のまちづくりを基盤に、私たちが誇りに思える、世界から選ばれるまちを目指していきます。

この特集に関する問い合わせは、政策企画課 ☎214・8475、FAX268・4311